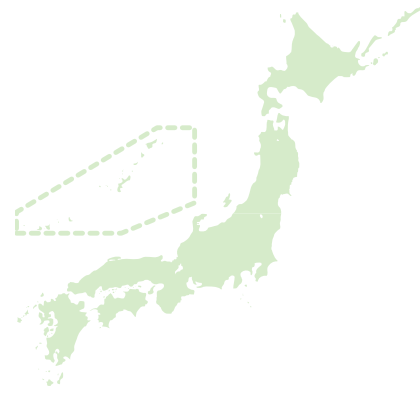


平成27年度

「言語聴覚の日」イベント報告



滋賀県

滋賀県言語聴覚士会では、地域の方に言語聴覚士の存在や役割について広く知ってもらうことを目的に「言語聴覚の日」のイベントの一貫として県民講座を開催しております。

今年度は、10月4日(日)に近江八幡市立総合医療センターにて『食べる楽しみ！高齢期の食事の安全管理をどう支えるか』と銘打った県民講座を開催いたしました。

内容

言語聴覚士：“食べる”ことに関する加齢性変化や誤嚥性肺炎予防の話し、口腔機能維持、口腔ケア、摂食嚥下について急性期病院での取り組みを紹介。

管理栄養士：リハビリ栄養の重要性を述べ、具体的な在宅での嚥下食の献立や調理方法の工夫、疾患別の栄養の問題と課題について情報を提供。

歯科衛生士：在宅での誤嚥性肺炎予防の観点より、在宅、施設における口腔ケアの取り組み、工夫を講義。

薬剤師：在宅での疾患や状態別に見た静脈・経腸栄養の考え方、内服薬の正しい飲み方や薬の危険や注意点について知識を啓発。

准看護師（特別養護老人ホームで、摂食嚥下障害に積極的に取り組まれている）：誤嚥性肺炎予防の観点より、施設での現状の取り組みを紹介。

以上、5人の演者が20分程度の基調講演を行いました。特に、パネルディスカッションでは、フロアからの質疑応答も活発に行われ、多職種で様々な視点から検討することができました。広報活動としては、県内の医療機関などの窓口にチラシやポケットティッシュを置かせていただき、県民の皆様へ周知を図りました。

当日は、広く医療福祉関係の職種に加え一般の方など、約100名集まり、県士会イベント過去最高数でした。多くの方に、摂食嚥下やコミュニケーションの重要性を知っていただけたかと思えます。今後も、地域の方に言語聴覚士の存在や役割を広めていけるよう啓発活動を続けていきたいと考えています。

滋賀県言語聴覚士会 広報局 飯島 禎

